

# 階

【きざはし】

～社会科教育を考える～

No.52

2025年1月

- 池上彰のインタビュー⑤②  
傷の痛みをわかち合う経験で  
生き延びた意味に気づいた 2  
サヘル・ローズ 俳優
- わたしの一里塚  
育つ環境をつくり、古の技と心を伝える 8  
小川 三夫 株式会社 鷗工舎 総棟梁
- ここに教育あり  
ふるさとの農業を実践から学ぶ  
～小学校農業科の取組～ 10  
中野 富全 福島県喜多方市教育委員会 学校教育課 課長補佐・指導主事
- 社会と教育の架け橋  
アートが奏でる創造の余白  
～芸術士の活動から～ 12  
三井 文博 特定非営利活動法人 アーキペラゴ 代表理事
- 異国日本の地に立って  
チベットと日本の架け橋を目指して 14  
加羊 公益財団法人 守屋留学生交流協会 第43回奨学生
- 子どもと、ともに  
「ふるさと黒保根学」を通して  
郷土を愛する心と未来を創造する力を育む 裏表紙  
群馬県桐生市立黒保根学園
- 資料  
宇宙からみた大阪



池上彰のインタビュー  
今回は サヘル・ローズ さん

子どもと、ともに (裏表紙掲載)  
今回は群馬県桐生市立黒保根学園の取り組み



合同運動会のフィナーレを飾る黒保根八木節。  
地域と学校が一体となる光景は感動的。

## 子どもと、ともに



①上級生が下級生を助け、無事に登頂した赤城山登山。お弁当を楽しみ、大沼湖畔で記念撮影が恒例。



③5年生の米作り。育苗センターでの種籾播きに始まり、肥料や水の管理、脱穀までの全てを自分たちで。



②地域の人々と共に1～6年生までの全児童が餅つきを体験。つきたての餅に大喜び。



④9年生が思いを込め、地域の食堂と共に完成させた「黒学天井」(右)。地域の方々を招待した試食交流会は、大好評。

## 「ふるさと黒保根学」を通して郷土を愛する心と未来を創造する力を育む

### 群馬県桐生市立黒保根学園

本校は、群馬県桐生市の北部に位置し、地域の中学校と小学校を統合して開校3年目となる全校児童生徒数54人の義務教育学校である。

本校の前身となる小中学校でも、総合的な学習の時間や生活科、学校行事などの時間に地域を教材として生かし、特色ある教育活動が実施されてきた。統合をきっかけに、地域理解教育「ふるさと黒保根学」として再編成し、郷土への理解を深め、愛着や誇りを持ち、その思いを形にして表現、発信できる児童生徒の育成を目指す学習としてスタートした。

#### ●豊かな自然や伝統文化を生かした特別活動

児童生徒会活動の一環で、縦割り班を編成して実施する自然体験学習である赤城山登山。農業支援隊を中心とした地域人材の協力のもと、5年生を中心に栽培したお米で1～6年生で行う餅つき。町民と学園による合同運動会で生徒が演奏し、参加者全員が一つの輪になって踊る黒保根八木節など、さまざまな活動を実施している。

#### ●自分にできることを考え実践する総合的な学習の時間

「ふるさと黒保根学」の中核となるものは、探究的・体験的な学習である。郷土のよさや課題と

出会い、「他地域の人にも伝えたい」「何とかして伝統や産業を継承したい」などといった思いをもち、1年間の学習のゴールとしてどんなことを実行していきたいかを児童生徒自身が考え、単元を設定していく。地域の高齢者福祉、米作り、産業、魅力発見などを各学年の探究課題として学びを楽しんでいる。

#### ●郷土黒保根の一員として、自分や地域の未来を切り開く

最終学年となる9年生は、1年間の総合的な学習の時間の学習を終えて、「黒保根の魅力を、今なら何十個も言えるくらい好きになった」「黒保根に生まれて、とてもよかった」「これからも黒保根の活性化のために活動していきたい」などと、全員が「ふるさと黒保根学」の目指す目標に到達する姿を見せた。地域の人たちの協力もあり、自分たちの思いや努力が予想以上の形となり、その喜びを地域の方々と共有できたことが、地域の一員としての自覚や誇りを育んだ。地域全体を学びの場としたこの経験を通して、黒保根に根ざしながら、より広い世界へ力強く羽ばたいていくことを期待し、今後も「ふるさと黒保根学」を継続、発展させていきたい。

階

【きざはし】

2025年1月16日発行 (No.52)

発行人：佐藤 清 発行所：株式会社 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 電話03-3262-4795(代)

©Teikoku-Shoin Co.,Ltd. 2025 <https://www.teikokushoin.co.jp/>

X(旧Twitter) ID: @Teikokushoin

アンケートはWebからも  
ご回答いただけます

